



<http://www.minamih.net/>
15・4・18(土)
南NEWS NO 5

いじめ・親の責任問題の講演会

講師は橋詰 穰弁護士です。

1. 日時 2015・7・18(土)
AM10:00~12:00
2. 場所 由井三図書館 or 体育館の予定
3. 講師 橋詰 穰弁護士 (矢上の寺田小時代の教え子)
都内各地域で、いじめに関する授業を小中学校で実施しています。
教職員・管理職を対象とする講演会も多数実施して大変な好評を得ています。
4. 講演内容
いじめの問題 子どもが関わった事故と親の責任
(最近の判例から)

南の5・6年生と指導者・保護者のみなさんを対象に講演をしてもらいます。

第34回ハトマークフェアプレーカップ 東京都4年生サッカー大会 12ブロック予選



4月12日 文化大学 小比企グラウンド

○チームのめあて：ファーストタッチを考える、コーチングをする
(とくにGK)、やるきMAX、つるべの陣形をとる、技を使う

やるきMAXのなり方：みんなでいっせいに蹴る。怒りをやる気に。
勝つ気持ち。やる気の無い人は帰れー

○自分のめあて：服部君・ストップゴー、岩崎君・マッシュズ、周君・シザース、隅田君・ダブルタッチ、田上君・シザース、尾川君・横ドリブル、茂松君・シザース、名嘉君・ダブルタッチ、牛越君・ストップゴー

■第一試合(15分ハーフ)南八王子0-7リトルキッカーズ 前半0-2

一護君が怪我で欠場、蛭名君も風邪で欠場(第二試合から参加)、森久保君も欠場と、チームを支えているメンバーがいないうちでの大会予選となりました。一方で怪我で休部していた牛越君が復帰し、いきなり目立つ活躍を見せました。長い距離を走った後に相手をおかわすプレーを連続してできる集中力、危ないところに気づいて駆けつける力はまったく変わっていませんでした。とくに左サイドを30mほどランウィズザボールで運び、寄ってきた相手DFを左足インサイドで切り返してかわしたプレーは光っていました。

GK名嘉君がペナルティエリアぎりぎりのところで手足と頭を巧みに使い分けて守りきった場面にはサッカーセンスの良さを感じました。試合終了間際に茂松君、尾川君がフォローしあって相手ゴールへ迫りシュートまでいったのが一番のチャンスでした。

相手ゴールキックで選手同士が声をかけあってマークについたり、茂松君が牛越君に相談して失点後のキックオフで右に走らせたところへパスを狙うなど、考えるプレーがあったことは良かったと思います。

ハーフタイムに体調が悪く試合に出られなかった隅田君が選手たちの水筒を自主的に出し入れしたのも良かったです。

とはいえ、試合は大敗です。相手のパスに崩されたこともありますが、「相手のドリブルを止められない」という問題が目立ちました。

■第二試合(15分ハーフ)南八王子0-12平山SC 前半0-7

相手のパスに振り回され、ドリブルも止められず、こちらのドリブルはほとんど出来ず完敗でした。

唯一負けていなかったのはキックオフ前の円陣の声の大きさです。岩崎君が闘志を見せてボールを追いかけ回り、軽く当たらないよう注意していたのは良かったです。

■第三試合(15分ハーフ)南八王子1-12清水北C 前半0-5

得点：服部君

三試合目も今日の他の試合同様に相手のドリブルを止められず大敗しました。

ただ、今日の三試合の中で「いちばん戦った試合」でした。唯一の得点はほぼ全員が団子で相手陣内までボールを運び、こぼれたボールを服部君が20m以上の距離から右足で蹴り込んだもの。相手GKが前に出ているのを見て、ドリブルでなくシュートを選び強いキックができました。

4月16日(木)2時間目から由井三小に行き、2階の生活科室から中休みの校庭を覗いていると南の4年生達がサッカーをしていました。上手にドリブルやターンで相手をおかわし、シュートをしていました。(力はあるんだよな)と思いました。

その後、3・4時間目に3年生と4年生の授業を観ました。みんな課題に一生懸命取り組んでいました。

b y 南のアンパンマン



